

令和三年 隠岐後鳥羽院和歌大賞

歌題Ⅱ舟

入賞

「古事記」一三〇〇年記念大賞

芦間打つ音も寂しき夕波のまにまに浮かふ海人の捨て舟

東京都調布市

佐合井 昇

隠岐後鳥羽院和歌大賞

浦風に咲けはかつ散る白波の花を越えゆく友なし小舟

東京都青梅市

中嶋 康夫

選者賞 冷泉貴実子選

東雲に映ゆる白波朝陽照る岸の柳や舟の行き交ふ

東京都町田市

小林和歌子

公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫賞

有り明けの大海原に霞立ちほのかに見ゆる漁火の舟

千葉県船橋市

宿谷 睦夫

水無瀬神宮賞

梶緒絶え八重の潮路をゆく舟はたよりも途絶え人も知らざる

鹿児島県鹿児島市

田中 司郎

出雲大社賞

朝ぼらけ伊勢の海原月淡し波にたゆたふ海士の釣り舟

東京都稲城市

徳植 弘幸

大阪天満宮賞

夕闇の宇治の川面に鵜飼い舟いさよひ揺れて漁り火の映ゆ

兵庫県川西市

林田 幸子

住吉大社賞

舟底に悲しみの波打ち寄する潮風まとひ大君坐さむ

島根県松江市

宮内しな子

城南宮・鳥羽殿賞

帆をかけし波間の舟は風うけて輝く夏の海のかなたに

東京都世田谷区

斉藤 典子

海士町長賞

鵜飼舟水脈さかのほる夕闇の波焼く程に燃ゆる篝火

兵庫県神戸市

唐澤まちこ

隠岐ユネスコ世界ジオパーク賞

もみぢ葉のまだ色あさき夕暮れをこがれぞわたる天の川舟

広島県東広島市

河上 律子

長崎県五島市長賞

春近み八十島かすむあけほのの空の下ゆく海士の釣舟

滋賀県彦根市

松岡 寿子

島根県雲南市教育長賞

水無瀬川岸の桜の花さかりくくりて下る春の舟人

埼玉県越谷市

関口 祐未

島根県益田市長賞

浪速津に霧なわたりそ芦の辺を分けて舟こく君か帰るさ

大阪府大阪市天王寺区

藤井 弥生

入選

舟旅の群青の青通過して暮れゆく波に残る薄あかり

広島県広島市南区

平越 玄頌

大君の舟路夕波隠岐の海心もしのいにしへ思ほゆ

広島県三次市

折口 浩三

大漁の船足軽ろき帰路なれど早や紫に暮るる島影

愛知県半田市

稲葉游遊子

葭原の芽吹きそめたる川岸に蜆舟今日も繋がれてあり

宮城県石巻市

大和 昭彦

ひとはみなここに汐の満ち行かむいま漕ぎ出てよ和詞の浦舟

東京都小金井市

空 竹

八十島をと渡る舟の跡もなく昔もおなじ隠岐の島風

東京都豊島区

御手洗靖大

うしないし昨日の恋をいたわりてお城の堀をめぐる此の舟

香川県高松市

樋口淳一郎

舟行けば秋の風吹く島牛の眼に映る紅葉の色よ

宮城県塩釜市

末永 栄子

舟の旅川を渡りて目黒川桜の花は風に舞い散る

東京都大田区

清水 春美

お遷りの院の御座船着きしより八百年目の秋のお祭り

島根県出雲市

宮下 朱草

偲はるる水無瀬の川の舟遊び大宮人はいかに過くらむ

兵庫県西脇市

藤原 紘一

村雨に渡りの舟の遅れるを火を焚きて待つ暮るる着場に

埼玉県所沢市

若山 巖

霞ヶ浦風の力に抱かれつつ帆曳きの舟は白魚を採る

千葉県香取市

奥村 利夫

童らの声と散りかふ花びらをひとひら乗せて笹舟のゆく

宮城県仙台市泉区

角田 正雄

ころもでの田上山のくれないのもみじをくぐる棚無小舟

大阪府高石市

浅野 敬一

舟人のさを一本にわれらみな身をあづけをり風かほるなか

東京都世田谷区

足立 訓子

八潮路を白波立てて来る船に草食むやぎの島ののどけさ

東京都青梅市

井上喜音子

つくよみのひかりをきよみなにはつにはやかへりませきみがのるふね

東京都台東区

松村 太樹

天の川渡る小舟を待ちかねてはたおる君は岸で手をふる
ひとすじに海の道ゆく漁舟おぼろの月はよりそふごとく

愛知県刈谷市
長崎県大村市

近藤 圭介
佃 美智子

海神の宿りし隠岐の島めざし舟出したれば虹の立つ見ゆ

福岡県筑紫野市

伊藤 敏

旅の宿窓辺に渡る夕焼の海行く船は朱に染やる

神奈川県藤沢市

大澤 清水

漕げ舟を流れはかろし此の日々の樂しかりけり夢にこそあれ

兵庫県宝塚市

小竹 哲

柳川の岸のやなぎ愛でながら舟で下れば「この道」流る

福岡県宗像市

新倉 正成

遠き日の君と流せし笹舟は今し何処の海を揺蕩ふ

岐阜県中津川市

西尾 嘉浩

島人の手を振る姿遠見つつ夕波さむき舟に揺れゐる

熊本県八代市

吉野 佳子

渡し舟水夫の操る櫂捌き行き交ふ客ら手を振り合ひぬ

三重県津市

奥山 功

阿蘇の灰うもれて浅き江津の湖遊びの舟を曳いて戻りぬ

福岡県大牟田市

早川ハルヨ

新たなる道へ船出の子を送る行く末の幸願ふ門口

東京都足立区

北島 孝子

潮騒を聞きつつ浜路眺めやる望月照らす隠岐島の舟

滋賀県彦根市

赤木 和代

大君の舟出せしとき隠岐の島の荒き波風和ぎて吹きしや

大分県玖珠郡九重町

後藤 信子

風まちの海士の港にいでし月よいよよこぎいづいかつり舟は

千葉県匝瑳市

宇野とし子

沖遙か神島指して行く舟の波の高きに見え隠れする

三重県桑名市

畑中 流石

緩らかに光のどけき舟下り歌詠みながら春の日を受け

岩手県奥州市

小野寺洋一

暮なづむ川に漁りの舟ひとつ舳先にうごかぬ人影のあり

大分県大分市

羽田野とみ

篝火の水面に映る長良川漕ぎ行く舟に鶉の声かなし

東京都港区

内田 玉世

天皇の船をいざなふ不知火の火群たち燃ゆ八朔の海

熊本県八代市

葉山 高弘

夜を籠めて急ぎ漕ぎ行く月の舟雲の波間に影を残して

東京都大田区

加藤 良子

漁り火の煌めく沖を眺むれば舟路白く闇に浮かべり

大阪府吹田市

河邊 幸子

幸祈る思ひを乗せし笹舟のせせらぎ進む淡き思ひ出

東京都立川市

西川 憲昭

漁火も月も照らせりぬばたまの島陰抜けし波間の舟を

東京都世田谷区

石倉 俊紀

長閑なる花の湊は春過ぎてむなしき舟に寄する白波

東京都調布市

石黒 悦子

わたつうみ輝くさまも懐かしきふるさと近く舟進みゆく

佐賀県唐津市

古川みほ子

投網打つ夕日をあびてしぶきあげ舟の姿は影絵の如く

茨城県常総市

太田きみ子

黄泉の國その港より出んとす舟はわれに近ずきて来る

香川県丸亀市

寒川 靖子

夜の明けぬしじま舟漕ぎ鳥賊釣りにいでし彼の日の祖父の海の香

京都府京都市伏見区

中村 博子

松原の遙か遠くの沖合の波間を走る海士の釣り舟

神奈川県川崎市宮前区

横山 隆行

わが里の濠埋めつくし櫻花小舟に寄せるうすくれないの

福岡県春日市

岡嶋 玲宝

秋立つとうら恋ひおれば天の川君が夜舟の梶の音聞こゆ

兵庫県明石市

齋藤 英昭

夕ぐれて雲居にまがふ桜花おぼろの月添ふ淀の川舟

大阪府大阪市福島区

足立 慶子

夜もすがら関の浪路の沖つ舟よりそふごとく灯ともしをり

大分県大分市

長畑 孝典

鵜飼ひ舟浮かふ川面に赤あかと篝火照らす鵜匠のよそほひ

神奈川県座間市

蓮見 孝子

島の影ゆき交う舟も遠くなり隠岐にも秋の風が吹きをり

神奈川県厚木市

北村 純一

吹きわたる風をさちにて港江をはなるる帆船きよらかに見ゆ

茨城県つくば市

宮本 保

春の海に時津風受け我の国の伯耆富士看ゆ空と海の間に

兵庫県神戸市北区

中村球磨夫

長良川の岸辺に五月の風を受け出番を待ちいる鵜飼ひ舟並ぶ

岐阜県飛騨市

横山美保子

あやつれる棹の雫にふれあひつ花の吹雪の保津川の舟

大阪府大阪市天王寺区

佐野 秀子

夕さればあはれ知らるる隠岐の島あま漕ぐ舟の跡は消えつつ

兵庫県西宮市

岡田 優志

ほのほのと春来たるらしわたつみに海士の小舟のむれ動く見ゆ

大阪府堺市中区

石川 知子

月見んと漕ぐ川舟の押し分くる岸辺の葦に洲鳥さざめく

熊本県八代市

太江田妙子

茜さす隠岐の島島渡りゆく漁りの小舟波間に浮かぶ

千葉県市川市

秋山 典子

夫の生れし三宅の島を訪ふ夜べに竹芝みなと波しづかなれ

埼玉県狭山市

松岡 初枝

旅ゆけば宿より見ゆる波間には魚釣り舟の篝火揺るる

埼玉県志木市

岡田 美幸

妹と吾を乗せて流るる笹舟の向ふ都の夢そ切なし

岡山県瀬戸内市

貞住 昌彦

夕さりの四万十川に舟を待つ蛍を見むと心弾ませ

千葉県千葉市花見川区

大久保文夫

短か夜の朝霧出て来星かすみ残り香置きて舟を出す君

大阪府松原市

岡本 町子

暮れていく明石の浦を見わたせば霞におちる海士の釣舟

兵庫県加古川市

桜 朱 灯

独り身と思ふことそかなしけれ沖ゆく舟に君を偲ばむ

北海道札幌市手稲区

西井 健治

月読の舟待ち給ふか老みつつも新島守は夜毎の波に

東京都杉並区

岡崎 志昂

鵜飼舟の舳先に揺るるかがり火に老いし鵜匠の面輪きびしき

静岡県三島市

鈴木 昭紀

この芽はる春べのあをき葦原のあひをさ渡る手漕ぎの小舟

滋賀県大津市

船岡 房公

朝風に港出でゆく舟望む松の枝先に昨夜の雨露

熊本県荒尾市

石橋 和枝

若人よ荒き浪風こえてゆけ小舟の綱は今ぞ解かるる

千葉県習志野市

内田かつひろ

木洩れ日を受けて光れるささ舟よまだ見ぬ世界大河まで行け

奈良県桜井市

森岡 昌子

花筏浮かぶ川面を進み行く舟に柳の糸なびきける

京都府京都市下京区

吉尾 薫

青柳を水面に写す山里の小川さらさら笹舟流る

千葉県船橋市

宿谷 政枝

隠岐の海夕波千鳥なく声のたえたえ聞こゆ舟の帆かけに

奈良県吉野郡吉野町

坂本佐代子

住の江やたゆたふ波の夕暮れは海人の小舟の影そなかるる

東京都新宿区

阿久津ひろみ

夕映えの隠岐の港へ戻る舟水脈を一筋海より曳きて

京都府宇治市

濱岡 学

幾年も国の境の荒海を越へ行く舟に降る星月夜

島根県隠岐郡隠岐の島町

谷村美都子

矢田の渡し千代の昔の書き物に記せしまさに舟の通へり

島根県松江市

松本美和子

朝霧の水面に浮かぶ釣舟やひと声鳴きぬ鳩やいずこに

京都府京都市北区

松原 勝子

星合いの空見渡せば静かなり君か舟出の天の川波

三重県桑名市

田中 稔子

熊野へと辿る大辺路安居の渡し翁の棹さす和舟に乗りて

山口県山陽小野田市

山縣満里子

どんこ舟しだれやなぎの柳川の路ゆく人と手をふり交す

福岡県小郡市

永松 理和

海の面の月影ゆらぐ夜半の浜舫ふ小舟のせつなく軋む

島根県松江

須田 芳子

柳川の遠名聞こゆる川下り顫ふ水面に舟子はすすむ

佐賀県佐賀市

森 安子

朝ぼらけ雲間に出づる月の舟はいかに水なき空を渡らむ

大阪府大阪市西区

柁木 理花

疾風吹き潮に逆らい渡る舟舳先は揺れる右に左に

佐賀県唐津市

浦田 穂積

ゆく人を見やれば舟をしはしなほ波な隔てそ島な隠しそ

東京都杉並区

しばたまさあき

手こぎなるすなどりの舟あやつりて近き磯辺をひとめぐりせり

島根県出雲市

花田 敦子

かき霧す宍道の湖のいさり舟こく音遠へ岸辺離るる

島根県出雲市

大谷香代子

天の海雲の波間に久方の三日月の舟仰ぎ見し夜

群馬県高崎市

関 弘子

そよ風に岸辺の柳花さそひ舟人たちとあそびたはむる

東京都杉並区

外間由記子

松原て吾は領巾振り待ちにけり恋しき君の帰りしふねを

東京都大田区

徳井 まさ

山のはの星の白波わけ漕きて天の原ゆく月の舟かも

大阪府羽曳野市

凜 七星

海士に来てはや十九年舟浮かべしのべば頬に秋風ぞ吹く

広島県福山市

浜田 光夫

舟に乗り桜月夜を愛でしかば経にける時を忘れ匂へる

新潟県新潟市東区

佐藤 憲

小舟漕ぎて詠歌唄ひます君の影海と溶け合ふ入り日に向きて

新潟県新潟市西蒲区

若月 昭宏

大空に弓張月の輝きて波間に漂ふ海士のつり舟

島根県隠岐郡海士町

永海 尚二

桜散る弥生の空の片隅に舟を浮かべて一人楽しむ

群馬県伊勢崎市

釈 正教

をちこちに海を照らせる灯の見えて動くとも見えず海士のつり舟

埼玉県所沢市

志村 美好

新島守の囚われ人を運ぶ船月もかげりて波すさまじや

吾が背子の解洗衣干す浜に白帆孕みて小舟寄せ来る

垂乳根の母を懐ひて笹舟を放つ宮川煌めく水面

諏訪のうみにかよふ小舟のあとよりぞふじの高嶺もかすみそめける

ひさかたの天つ海原こぎいだせ青き月舟星のまにまに

隠岐島へ荒波こえてたどり着く帝の無念をのせし小舟は

けふこそは月と共にやいてぬらむ海士の小舟よ浪こえて行け

烏羽玉の夜のかかり火鵜飼舟はせて散る影瀬々に消えゆく

淡路島一夜明かしの波のまにさざりにまがふあまのつりぶね

海原に風吹きすさみ舟ゆらぐ月現ると見ゆる島影

棚なしの小舟探しし阿礼の崎三河の風の秋の夕暮

渡し舟棹さす川の水面には春も行くらむ花散りそむる

宇治川の鵜舟の燈眺むれば君に焦がれる我が心なり

淡路島絵島の浦にすむ月を舟を浮かべて見るこよいかな

大空を風のまにまにゆうると行方も知らぬ白雲の舟

流さるる雛は小舟に堆く積れて海をたゆたひてゆく

夕くれて背にし島影こかね染む沖ゆく舟によする白波

帝しのぶ藻塩の煙たなびきて海士の小舟の影のさやけき

東京都世田谷区

今田 克

東京都世田谷区

古河 章男

三重県伊勢市

伊藤 理恵

長野県茅野市

堀川 洗太郎

大阪府大阪市天王寺区

縁糸まどか

東京都小平市

富田 恵子

長崎県諫早市

芦塚 寿重

兵庫県神戸市垂水区

西村 資子

宮崎県延岡市

御茶ノ水啓太郎

静岡県周智郡森町

米元 晴康

愛知県豊川市

松井 孝憲

東京都青梅市

古賀のり子

東京都世田谷区

伊賀 智哉

兵庫県西宮市

宗 秋

宮崎県都城市

皆川 美穂

滋賀県草津市

吉田 邦子

長崎県佐世保市

宇野 聰子

愛媛県松山市

井上由美子